



いずみ

令和6年2月29日発行

<学校教育目標>
かしこい子
やさしい子
たくましい子

学校HP



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

トライ&エラーのさらに先へ

校長 鷲見 真太郎

「よりよい自分、よりよい学級、よりよい学校を自分たちで」と、進めてきた本校の令和5年度も、最後のひと月となりました。先月の巻頭言でもお伝えした通り、教育活動の成果が子供たちの姿として表れていることが、たいへんうれしく、誇らしいです。

ノーチャームでも自分たちで教室に戻り気持ちを切り替えて授業に臨む、行事や日常の委員会活動での創意工夫と自主性、各学級の係活動の盛り上がり、学級会や授業における対話等々、具体的な場面を挙げると紹介しきれないほどの子供たちの活躍がありました。ただ、全ての活動において、うまく事が運び、成功体験につながったかという点、そうではありません。計画通りに進まなかったり、結果として実現しなかったり、という活動もいくつかあります。しかし、それは子供たちにとってマイナスな経験だとは思いません。

一昨年度6月号の巻頭言で、自己肯定感を高めるには、自己有用感が重要だと書かせていただきました。上記の活躍によってその自己有用感が高まった児童は多いのではないかと思います。ただ、この自己肯定感というものの、ただ高めればよいというものではなくて、高め方が重要だ、とも言われています。そこにはまず、失敗や困難な状況を乗り越えて得られた達成感や成就感による成功体験が必要で、それが人に認められることで高まった自己肯定感の本物の自信となって子供たちの力となっていくということです。

今年度当初の保護者会で、「トライ&エラー」を大事にする、というお話をさせていただきましたが、上記のことから、より「エラー」の部分をお大事にする必要があると感じています。「エラー」をただの間違いや失敗と考えず、つまずきや乗り越えるべき壁・ハードルと捉え、子供たちがそれを乗り越えられるよう、支援していきます。そして、達成できた時に大いに認め・褒めることをしていきます。

「エラーから始まるトライ&チャレンジ」という気持ちで、来年度も学校全体で子供たちを支えていきます。

3月の生活目標

学校をきれいにしよう

- 自分の物や教室の物を整理整頓する。
- 計画的に学習用具を持ち帰る。

3月の安全指導

3.11を忘れない

- 1月にも石川県で地震がありました。いつ、どこで自然災害が起こるかわかりません。自分の身を守るためにも行動確認をしていきたいと思えます。

※3月の避難訓練は予告なしで行うため、行事予定に記載しません。ご承知おきください。